

平成15年度第12回理事会議事概要

日 時 平成16年2月27日(金) 13:00～13:40

場 所 特別会議室

出席者	理事長	田 中	潔
	理事(企画・総務担当)	藤 原	敬
	理事(森林研究担当)	桜 井	尚 武
	理事(林業・木材産業研究担当)	池 田	俊 彌
	監事	今 村	清 光
	監事	井 上	徹 雄
	企画調整部長	石 塚	和 裕
	事務局(企画科長)	藤 井	智 之
	事務局(総務課長)	加 藤	秀 春

欠席者	総務部長	周 藤	眞
-----	------	-----	---

1. 開会

2. 議事

(1) 平成16年度予算概要について(報告)

(加藤総務課長)

<資料1:独立行政法人森林総合研究所の平成16年度概算決定額により説明>

(今村監事)

諸収入のマイナスの意味は何か。諸収入があると運営費交付金が減らされるということか。

(加藤総務課長)

毎年の収入額に応じて運営費交付金を増減させるというのではない。運営費交付金の算定因子の中に収入額を減ずることが明記されている。

(今村監事)

どこの機関も同じような扱いなのか。

(石塚企画調整部長)

平成13年度に設定した段階で、以前に予算措置してある収入ということであり、当所の場合はほぼ多摩森林科学園の収入だけが対象になっている。

(今村監事)

諸収入がマイナスというのは何かおかしい気がするが。

(石塚企画調整部長)

依頼出張や分析鑑定で得られた収入は、当所の収入として使用しており、マイナスの部分は以前に予算措置してある部分のみである。収入の取り扱いについて、財務省は新たな方針をたてていないが、収入に従って全額マイナスするというのは独法の努力をそぐ結果になるのではないか。

(田中理事長)

平成16年度の予算概要については、説明のあったとおりで了解する。

(2) 平成16年度研究職員選考採用の内定について

(加藤総務課長)

<資料2：平成16年度研究職員選考採用の内定についてにより説明>

(石塚企画調整部長)

補足であるが、今年度の定年退職者及び大学への出向により常勤職員数の減少が見込まれるため、来年度は10月に採用を予定したい。

(池田理事)

今後、仮に選考採用が難しくなってきた時にI種での採用が必要になると思うが、このところが今後において課題になってくるだろう。

(田中理事長)

今回、林業機械研究領域については採用できず、分野によって難しい面はあるが、今回のように全体で40名もの応募があったところを考えると、今のところ問題はないと思う。

なお、植物生態研究領域に採用内定の者は中国国籍であり、当所としては外国国籍の者の採用は初めてのことであるが、今後このようなことは増えていくと思う。

研究職員の採用内定については、説明のあったとおりで了解する。

(3) その他

(藤井企画科長)

3月17日に全所研究推進評価会議、3月18日に全所運営会議を開催する予定である。

(田中理事長)

報告のあったとおりで了解する。

次回第13回の理事会は3月26日(金)を予定する。

3. 閉会